

## 新津地区公民館運営審議会 会議概要

### 1 開催概要

- (1) 名称 第9期第4回新津地区公民館運営審議会
- (2) 日時 令和7年3月6日(木) 午後3時30分から午後5時
- (3) 会場 新津地区公民館502研修室
- (4) 出席者
  - ・委員 渡辺委員(議長)、皆川委員(副議長)、阿部委員、小原委員、川瀬委員、篠原委員
  - ・事務局 【新津地区公民館】森山館長、今野主任、権平主査、潮田主査  
【小須戸地区公民館】吉田館長、桑原主査
- (5) 傍聴者 0人

### 2 議事・報告事項

- (1) 令和6年度事業中間報告について
  - ①新津地区公民館
  - ②小須戸地区公民館
- (2) 令和7年度事業計画(案)について
  - ①新津地区公民館
  - ②小須戸地区公民館

### 3 概要(意見・質問事項)

#### (1) 令和6年度事業中間報告について

・まだ終了していない事業は参加者数見込みが掲載してあるが、見込みの出し方は何かあるか。

→(新津) 事前申込者数や、複数回の事業ではこれまでの参加者数から類推して終了後の見込みを出している。

・連携の欄に学校や地域教育コーディネーターなどの協力がある場合に丸印がついていると思うが、ついていないところは例えば講師対応などを公民館職員だけで行っているのか。

→(小須戸) 丸印がついていないところは、公民館職員だけで対応している。

・とても連携されていると思うし、公民館職員もがんばっていると感じた。同じく表の見方で、開設数と回数の考え方を説明してほしい。

→(新津) 開設数は1つのシリーズやテーマ、回数はそれぞれのシリーズやテーマで実施した回数となっている。

・小須戸地区公民館の資料で、備考欄に小学校COとあるが何の略か。

→ (小須戸) 地域教育コーディネーターをCOと略した。

・数多い事業に取り組んでいただき、参加者数もかなりの事業が定員に達しているところがあるという評価をした。

・事業が多いとなかなか大変な部分もあると思うが、一つ一つの内容を充実させ、また大事にしていくのも必要である。それぞれ丁寧に事業開催していると思うが、本当に大変だという印象を受けた。

・アキハの宝こども探検ツアーの秋葉区の気候講座は、面白い着目点だと思っている。参加したこどもたちの様子や、講師からどんなことを聞いて、どんな感想を持ったのかということを知る範囲で教えてほしい。

→ (新津) 夏休みに入ってすぐということもあり、とても多くの申込みがあった。秋葉区在住の気象予報士2人の話を、小学生が目を光らせて聞き入っていた。内容は少し専門的で難しい部分もあったと思うが、例えば新潟市中央区、秋葉区と阿賀町津川、それぞれの観測地点における季節ごとの気温の違いや積雪量の違いなどを比較したり、なぜ秋葉区は中央区に比べて暑かったり雪が多かったりするのかななどを教えてもらった。

加えて、ペットボトルの中に水やアルコールを入れ、圧縮した空気を送って雲を作るという実験を行った。こどもたちは目の前で雲ができたのでとても大喜びだった。また、いろいろな種類の雲を綿で紙に貼る工作を行い持ち帰ってもらったが、成果物を持ち帰れてよかったと思う。

新潟薬科大学の学生から実験などを手伝ってもらったが、こどもたちは学生に親しみを持ち、学生も丁寧に教えてくれたので、大学との連携もできこどもたちの学びの意識も高まり、とてもよかった。

・新潟薬科大学は学校に依頼すると先生が学生に声をかけてくれるのか、それともカリキュラムや単位があって来てくれるのか。

→ (新津) 今回は学校に直接お願いし、先生と学生8名程が来てくれた。カリキュラムの対象だったのかは不明である。

・小須戸地区公民館のカボチャランタンづくりに使うカボチャは、どうやって調達しているのか。大きいカボチャを参加者23名分揃えるのは大変だと思うが、特別な農家に作ってもらっているのか。

→ (小須戸) 県立植物園友の会メンバーが自身の畑でおばけカボチャの種から栽培し、商店街のハロウィン仮装祭りに提供しているが、余計に作ってあるものを持ってきてもらった。

・新津地区公民館の事業で24番のハングル講座は当初予定がなく、こどもや若者向けに企画したと説明があったが、予定になかったものを企画したエピソードやきっか

けがあったら教えてほしい。

→（新津）公民館職員の発案によるもので、年度途中で相談があった。途中からは難しいのではないかと話したが、担当者の熱意や、自身も韓国文化に親しんでいることもあり、これをきっかけとして少しでも若者から公民館に親しんでもらえるようにするならやる価値があるという話でまとめ、開催したところ大盛況だった。

・どこの公民館も若い方たち、30代くらいの方たちから足を運んでもらう機会がなかなか少ないという悩みを抱えている中で、すごくいい企画をしたと思った。また、職員のアイディアを館長が受け止めたと分かったが、柔軟な対応が活かされたと思った。

・新津地区公民館と連携している小学校や中学校は固定化している傾向があるのか、担当者の繋がりが他と比べて少ない学校があるのか。今後、持ち回りなどでまんべんなく小学校、中学校と繋がるような考えがあれば聞きたい。

→（新津）令和6年度に実施した6校については、それぞれ学校訪問したり個別に連絡をもらった学校の中から継続的に実施しているところが多い。他の学校については課題だと思う。

今後は、年度初めの小中学校の校長先生の面識会などで、公民館活動、特に学校との関わりについて紹介し、地域教育コーディネーターを通した公民館との連携があることを知ってもらおうと考えている。興味を持った学校から連絡をもらえるとありがたいが、そういう形でいろいろ学校と連携していきたいと思う。一方、職員数や予算に限りがあり全てできるわけではないので、要望の中から可能な範囲でやっていきたい。

## （2）令和7年度事業計画（案）について

- ・事業の広報の仕方は、チラシやホームページの他に何か工夫しているか。
- ・事業終了後は、ホームページで実施報告されているか。

→（新津）事業の対象者によって広報の仕方を工夫している。例えば小学生対象の講座では、学校にチラシを持参して世帯数配布をお願いしている。最近は学校の方針で、紙チラシの配布をやめて一斉メールへのデータ添付に切り替えたところもあるようだ。公民館としては、できれば紙で渡してもらいたいと思っている。

通常は、チラシを公共施設に設置したり直接対象者に配る手法や、ホームページ、区役所だよりなどである。今年度、新潟市のLINEを使った周知を行ったところ、他区在住者から申し込みがあり効果を実感した。今後のSNSの課題としては、FacebookだけでなくInstagramの活用も検討していきたい。

事業の実施報告的なものは、ホームページにあまり載っていない。今度の秋葉区二十歳の集いを周知する際に、実施の様子をイメージしてもらえるよう前回の写真をホームページに掲載したが、全体的に十分な実施報告がされているとまでは言えない。

秋葉区美術展覧会が終了後、FM新津の公民館情報コーナーで美術展を振り返り受賞者の生の声も放送したが、リスナーからとてもよい内容だったと評価の電話をもら

った。

・新津地区公民館の令和6年度事業のシニアライフ講座で、携帯電話会社からスマホ操作講座の講師協力を受けられなかったと記載があるが、令和7年度の計画にもあるので講師をどうするか聞きたい。

→(新津) これまで協力してもらった携帯電話会社の事情により継続できなくなったが、他の会社に相談する時間がなく実施できなかった。来年度は携帯電話会社以外にも、違った切り口として、スマホが苦手な高齢者に高校生など若い世代から教えてもらう方法もあると考えている。